

希望を語る

2000 年 8 月発足

19年の歴史を持つ患者会“希望を語る会”ニュースレター



希望を語る会事務局:健康増進クリニック

Tel 03-3237-1777 Fax 03-3237-1778

www.kenkou-zoushin.com info@kenkou-zoushin.com

難病に対し再生医療に挑戦します

院長 水上 治

この 2 月半ばから、最新再生医療として、乳歯歯髄幹細胞上清液(上田実名古屋大名誉教授法)を点滴して、臓器や細胞の再生によって病気を治すことに挑戦してみます。本来は自分の骨髄や脂肪の幹細胞(原始細胞あるいは万能細胞)を培養して点滴するのですが、培養細胞によるアレルギーなどの問題があります。

細胞培養液には、細胞を含みませんが、数百種類の細胞の再生を促す化学物質(サイトカイン)が含まれるため、点滴でいったん骨髄に入り、骨髄幹細胞を誘導し、サイトカインの刺激によって、欠損細胞部位に働き、細胞再生を促します。

関節や脊髄の病気だけでなく、脳神経細胞の病気(脳卒中後遺症や認知症、パーキンソン病など)、関節リウマチ、変形関節症、椎間板ヘルニア、アレルギー病などにも効果が期待できます。抗癌剤の副作用でしびれが残っている人も適応です。癌自体は適応ではありませんが、癌が治り、後遺症で苦しんでいる人も良くなる可能性があります。基本的には最新医学でも治せないタイプの病気は何でも挑戦する価値があると考えます。既に実行している他のクリニックでの手応えは、時に信じられませんし、人によっては即効的です。症状が完全に治るのが望ましいとはいえ、5-6割の改善でもかなりいいと思います。

週 1 回程度、数回の点滴で効果判定が可能です。ご相談お待ちしております。

コロラド レッドロックス

病が現れるには様々な人生経緯があり、それぞれが心に重荷を背負っていることでしょう。重荷を降ろし、解放するなどの心理療法がありますが、心を落ち着ける心理療法の一つに「大地と繋がっているとイメージする療法」があります。不動の大地と繋がっているとイメージし、心を安定させる療法です。

不動のもの、普遍のものをイメージし、それと繋がる、或いはそれに守られていると納得すると心が落ち着きます。大地や岩は常に傍らにあり、私たちが拠り所とできる存在です。悠久の時を経て来た大地はどこかに行ってしまうこともなく、私たちが立っているその下で、常に私たちを支えてくれます。その物理的原理を心理に延長します。



術後間もないころ、コロラド州デンバー近く of 自然公園 Red Rocks に米国の友人が誘ってくれました。大岩壁が見下ろすその丘は、現代から切り離されて、太古の空間にいるような印象を佇む人に与えます。そして、赤い砂岩から「温もり」と「風化した優しさ」が伝わってきます。途方もなく大きな赤い岩層が作り出すタイム・スリップの空間は、人間の歩みがどれほど微々たるものであるかを教えてくれる格好の教材です。太古には海底に沈んでいた岩々が隆起し、2億9千万年もの時を経て、海底に沈んでいた時代の波の浸食が緩やかに浮かび上がっています。

—僕たちはここに数億年という間存在し、見守って来た—

岩壁の谷間で優しく咆哮する風がすべてを消し去り、すべてから離れ、大岩と自分だけの世界を創り出します。風の優しい咆哮に身を委ねていると、風が「些細なすべて」を吹き飛ばし去り、自分のエッセンスだけが見いだされ、「エッセンスの自分」が岩間に立っているように感じます。

巨大な岩層は風の咆哮になって語り掛けます。「手術で失ったものは、躓きではない。僕達も断層がずれたり、断裂したりして痛手はあるけれど、こうやって太古の昔からここに立っている。君も大丈夫だ」と無言にして最大のメッセージを贈って来ます。

—だから、私も立って行こう。きっと大丈夫だ—

Text & photo @ Fuyuki

Kaida

コロラドの野生



ハイキングコースにはライオンが出没 裏庭には野生の鹿 イグアノドンの足跡 Dinosaur Ridge

五行歌

小林美智代さま

枯葉をふみしめて
歩いていたら
埋まってみたいと
座り込む
空が広い

入院中

うつらうつらしながら

浮かぶのは

昔観た

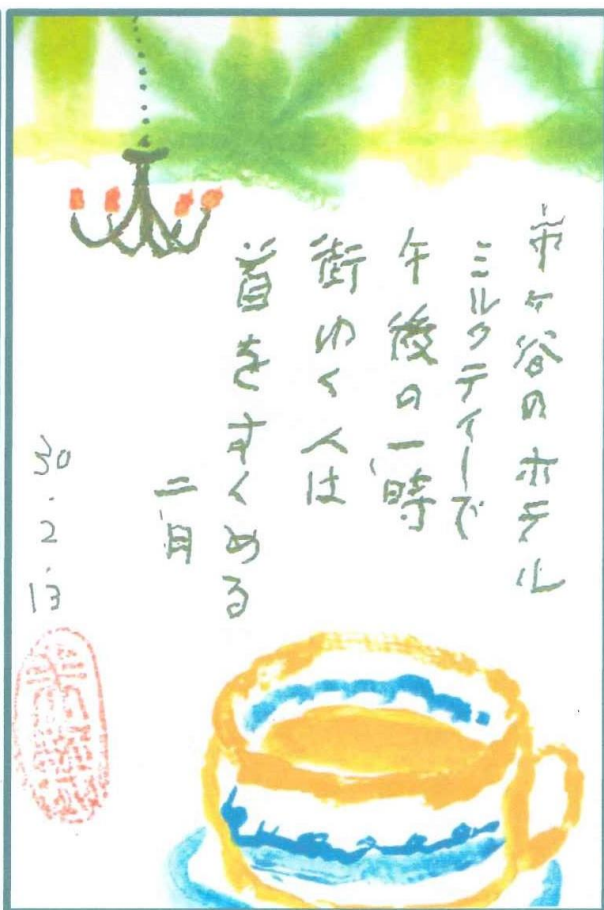
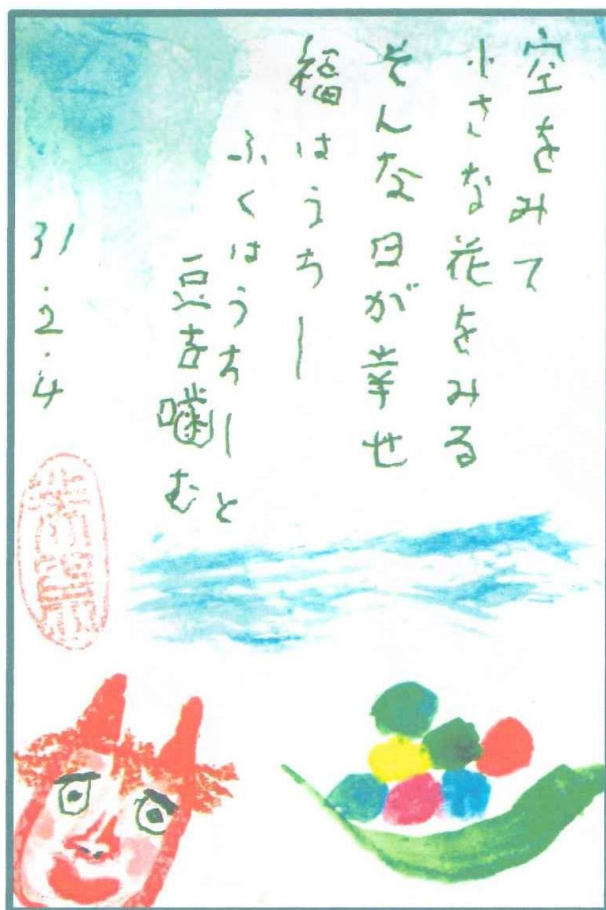
映画のひとつ



昭和記念公園

みーこねーちゃんの絵手紙

佐藤美恵さま



佐藤様はH7年に脳梗塞で左半身麻痺となり、H24年より当院にて鍼治療を開始しました。加藤医師の勧めで始めた絵手紙。もともとは右利きですが、左の麻痺を克服するために、左手で書いています。それを北海道在住の妹さんに送ったところ、とても喜んでくださり、カレンダーにしてくださいました。

《院長と共に癌の勉強会》 水上医師

第1 火曜日 2月4日 15:00~16:00

再生医療で信じられないことが起こる！

要申込!!

☆当院患者様
☆そのご家族
☆e クリニック関係
者参加費無料

それ以外の方
参加費 5,000 円

点滴治療中の方もご参加いただけます
お気軽にどうぞ！

場所 シアタースペースにて



加藤医師よりお知らせ

2020年5月に「こもれびの診療所」を
南千住に開院することになりました
今後ともどうぞよろしくお願い致します
詳細は後日お知らせいたします

❖ 今月のお花 ❖ カマクラヒバ・ユーホルピア・アルストロメリア



今年の冬は暖かでしたね。でも、これから去る前に暴れて行くかも知れませんので気を付けましょう。

今回のお花は赤紫色のアルストロメリア。なんだか舌を噛みそうな名前ですね。南米のチリやアルゼンチン、ペルー、ブラジルなどの国で60種類くらい野生種が分布しています。花はよく見るとゆりの花を小さくしたものが沢山集まった感じです。調べてみたところ、やはりインカのユリと言われていたそうです。和名もユリスイセンです。花びらに点々とある条斑は虫を寄り付けさせ、花粉を運んでもらう為にあると言われています。

花言葉は持続・エキゾチック・未来へのあこがれ

M. I

★「希望を語る」は患者さまの体験談や、また特技を生かしたメッセージ、いま語りたい事、その他何でも、情報交換の場を提供させていただく冊子です。写真や原稿などございましたら、どうぞ事務所またはスタッフまでお知らせください。お待ちしております。